

いま、大きな転換へ

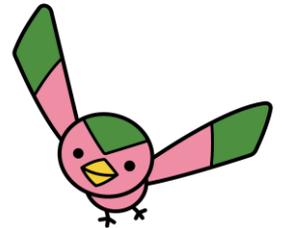
V-station活動報告書

2025年度



大阪公立大学ボランティア・市民活動センター

V-station



目次

・2025年度の概要

・特記事項

… 理事長表彰 / 森之宮 / ほかキャンパス /
学生生活について考える座談会 / 万博 / 災害 /
Let`s DO!! / 啓発活動 / 講師・研修 / 他大学交流 /
卒業生 / 市民 / その他

・総括

・寄付のお願い

2025年度の概要①



季節のボランティア説明会

春ボラ: 4月8日, 10日,
14日~18日
【中百舌鳥C: 5日間】
【杉本C: 5日間】

夏ボラ: 6月17日, 19日,
23日, 25日, 27日,
30日~7月4日,
7日~11日
【中百舌鳥C: 10日間】
【杉本C: 5日間】

秋ボラ: 10月3日, 7日~10日,
14日, 15日, 17日
【中百舌鳥C: 4日間】【杉本C: 1日間】
【森之宮C: 4日間】

冬ボラ: 1月5日~9日,
13日~15日
【中百舌鳥C: 2日間】【杉本C: 1日間】
【森之宮C: 5日間】

学生ボランティア団体 合同説明会

2025年4月12、13日

参加団体: 16団体



新規V-mate数(2025年度)

キャンパス	中百舌鳥	杉本	計
人数	104名 +27名(市民) (前年比+21名)	74名 (前年比+30名)	205名 (前年比+51名)



活動参加率 **75%**

うち活動参加者

153名

*別途
…昨年度からの継続者90名

2025年度の概要②

Point：ボランティア団体等との連携数が大きく増加

ボランティア受入先 新規登録数

前々年度	前年度	今年度
33団体	26団体	64団体
	大幅に増加	

活動プログラム数

前々年度	前年度	今年度
147件	140件	192件
	大幅に増加	



参加者数

今年度
約1500名
(延べ人数)

考察

森之宮キャンパスの開設により、周辺エリアとの連携が大きく進展。

傾向：これまでは少数だった企業等とのコラボレーションが多く見られる。

住民組織、NPO団体、行政等、多様な組織とのパートナーシップを構築。



特記事項

「公立大学法人大阪 理事長表彰」受賞

V-stationが理事長表彰を受賞しました

- 「大阪・関西万博に関連する諸活動ならびに継続的なボランティア活動において顕著な実績をあげメディア掲載を通じて法人の名誉を高揚した」として令和7年度教職員理事長表彰を受賞した。
- 当日は副センター長、コーディネーター、学部4年生の学生スタッフ5人が参加した。学生たちはそれぞれコメントの機会を与えられ、自身が携わってきた活動や今後取り組みたいことを語った。

総括

ボランティアは社会の地べたを支えていることが多く、それ故に脚光を浴びない活動も多く、直接的な財を大学にもたらすわけでもないけれど、それでも今年の教職員理事長表彰に選んでいただいたことの意味を考えながら式に参加しました。

社会や大学に大きな変化があるたびに奮闘してその波に対応してきたV-stationの活動を、今後もますます発展させてゆくことを誓います。



森之宮地域での活動（前期）

～地域の自治会やボランティア団体との連携～

●森之宮春まつり(4/6)

・こども向けブース「わにくんパニック」の企画・運営

●ComiComiシロノヒガシ(4/23～)

・こども食堂「ComiComiしょくどう」の活動へ定期的に参加

・森之宮フェスティバル(後述)で共同企画の出展を予定

・おにぎりアクションとのコラボ企画を準備

●森之宮フェスティバル実行委員会議(6/21～)

・これまで当日参加が中心だったが、今年度は企画から参加

☆食栄養学科の1年生が中心となって活動!



森之宮地域での活動（後期）

～地域の自治会やボランティア団体との連携～

●森之宮フェスティバル(10/26)

- ・「V仮面焼き」「こども屋台」「リアル・ウォーリーを探せ」
「写真グランプリ」「おにぎりアクション」など企画多数

●地域住民向け森之宮キャンパスツアー

- ・森之宮小学校児童にも実施
→学生が「大学ってどんなところ？」講座も企画

●Christmas縁日@森之宮団地(12/13)

- ・学生スタッフ1年生が中心となり、UR主催イベントのこども向け企画を準備

●キッチンMYU(2/20)

- ・地域でこども食堂に取り組む「ComiComiシロノヒガシ」と協働
- ・森之宮では初の「学生主体」のこども食堂を開催(今後継続的に実施予定)



その他キャンパスでの活動①

中百舌鳥キャンパス

- 継続的な活動を通じたつながりづくり
 - ・ 大学を拠点とした地域のつながりづくり (Let`s DO!!の継続)
 - ・ 白鷺地区での地域イベントの開催 (流しそうめん、夏まつり、もちつきなど)
- 新規イベントの実現
 - ・ 注文をまちがえる料理店 (卒業生からの企画相談→9月開催)
 - ・ さかい和 cultura フェスタ (地域住民からの企画相談→11月開催)



杉本キャンパス

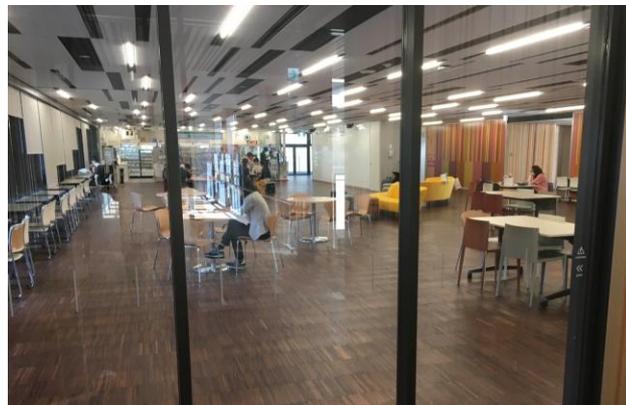
- キャンパス拠点について
 - ・ グローバルビレッジ活用により1年生の集いの場に
- とびだせひみつきち
 - ・ キャンパス近隣での恒例の活動として学生にも徐々に定着
 - ・ [大阪市市民活動総合ポータルサイト](#)への記事掲載



その他キャンパスでの活動②

阿倍野キャンパス

- 夏ボラ医療コースを実施することで、医療系学部生（主に看護学部生）にボランティアの関心を持ってもらうことができた。
- 新看護棟3階にて、秋ボラ・春休みスタッフ会議を実施。
- 今後は、毎月「第三水曜日」をあべの開室日とし、スタッフ・コーディネーターが新看護棟3階に滞在予定。



りんくうキャンパス

- りんくう海岸清掃（8月11日）
- 社会福祉協議会主催の夏休みプログラムに学生が参加
- ふれあい交流祭り@関西国際センター（11月23日）
- 市内中高生向けのボランティア講座を大学生が企画（3月26日）
→ボランティアフェスティバル（6月13日）に出展予定



学生生活について考える座談会

活動実績

● 「学生自治団体連合」の形骸化に加えて、森之宮キャンパス開設によって、様々な課外活動の存続が危ぶまれる状況である。その中で、これからの「学生生活のあり方」について、多様な学生自治団体が集い意見交流・合意形成していく場が必要との認識から、仲介役として「V-station」が関わる形で「座談会」を開催することとなった。

- 4月30日(水):「森之宮座談会」として初開催
- 5月20日(火):第2回「学生生活について考える座談会」以降、週1回のペースで実施(~7/15, 計10回)
- 8月11日(月)~9月24日(水):
夏休み中は六つの議題に分かれて、
最大週3回の座談会開催
■議題「新歓事業」「森之宮開学イベント」「大学祭」
「平常活動」「グランドデザイン」「全体会議」
- 9月25日(木):森之宮キャンパス開放フェス
- 後期以降は毎月第2水曜の放課後に開催



2025/9/5

森之宮キャンパス 開放フェス OMU

9/25 木
10:00~16:00

対象者
大阪公立大学の学生・大学院生
教職員・OB/OG・保護者の方々

参加方法
申し込み不要・自由参加
※学生・院生の方は学生証をご持参ください

会場
大阪公立大学森之宮キャンパス
(大阪府大阪市城東区森之宮2丁目)

キャンパス開放
▶10:00~16:00
事前配布のマップをもとに、図書館・自習室・学生ラウンジ・食堂などを自由に見学できます。各施設では、案内担当者から利用方法や活用例を説明します。

生協店舗
イベント当日は、生協店舗が時短営業します。
(営業予定時間) ※今後変更の可能性あり
食堂: 11:30~14:15
売店: 10:00~15:00
カフェ: 10:30~14:00
無人決済店舗: 8:00~22:00
※食事は食堂・各階ラウンジのみ可

ステージ企画 教室企画
▶13:00~
キャンパスで気軽にライブ気分を味わえます。日際の開催とは違う大学の魅力を発見しよう!
▲雨天中止

▶10:00~15:00
文化系団体が教室ごとに出張! 活動内容や魅力を紹介します。

詳しくはこちら! 

<https://union.omu-zichikai.jp/post-2114/>

主催:大阪公立大学学生自治会 共催:大阪公立大学文化系委員会
協力:大阪公立大学ボランティア・市民活動センター(V-station)、白眉管弦楽団共催体S.T.A.F.-1
問い合わせ先: 大阪公立大学学生自治会
Email: st.council.osakafu@gmail.com

大阪・関西万博（会期中の活動）

●会場内・駅での活動

お客さんの道案内や、万博情報の案内、記念写真の撮影など

●ボランティア活動についての登壇依頼（4月26日、5月24日）

大阪・関西万博福島復興のトークセッション、いのち会議のプログラムへの参加

●活動報告資料の協力

大阪まちボランティアの
活動記録作成に向けた取材への協力

●密着取材（開幕前～初日）

万博の魅力向上にボランティアが
貢献していると取り上げてもらいました



災害チームの活動



活動実績

- メンバー15名 ※1年生多数
- 子ども向け防災教育プログラム(体験イベント/出前授業)の実施
- 災害ボランティアセンター運営訓練への参加/炊き出し訓練の実施
- 学園祭での「能登半島 コロッケ・かかし」出店販売
- 気象庁 大阪管区気象台との連携(新たな関係構築)

●能登半島地震 災害ボランティアバス(通算7・8回目)

- 日時：8月16日～18日 / 3月27日～29日
- 場所：石川県輪島市門前町黒島地区
- 受入団体：復興応援隊
- 参加者：延べ66名(複数大学から参加)
- 企画：おおさか災害支援ネットワーク・大学生部会



Let's DO!!

(レッツ　　どー！！)

ほぼ毎月第一土曜日に中百舌鳥キャンパス内で、子どもをまんなにした地域交流の場をつくっています。大学生と一緒に「さあ、やろう！(Let's DO!!)」

開催実績

開催月	テーマ	主な連携団体等
4月	なかもずさくらまつり	友好祭実行委員会・部活動やサークル団体
5月	キャンパス自然たんけん!	V-station卒業生
6月	楽垣(うかがき)ペイントキッズ	堺しらさぎArt Avenue
7月	流しそうめん大会	UR白鷺団地コミュニティサロン
8月	夏休み宿題ひろば	V-station社会人メンバー
9月	めざせ!ぼうさいマスター	V-station災害チーム



Let's DO!!

(レッツ　　どー！！)

ほぼ毎月第一土曜日に中百舌鳥キャンパス内で、子どもをまんなにした地域交流の場をつくっています。大学生と一緒に「さあ、やろう!(Let's DO!!)」

開催実績

開催月	テーマ	主な連携団体等
10月	とっておきの音楽祭inさかい	とっておきの音楽祭inさかい
11月	ニコニコおにぎり食堂	しらさぎおうちごはん・おにぎりアクション
12月	なかよしクリスマス会	友好祭実行委員会・部活動やサークル団体
1月	いきいきニューイヤーフェスタ	にこにこベース・V-station災害チーム おーるサンドイッチキャンパス
2月	クレープパラダイス	しらさぎおうちごはん
3月	わくわくおさんぽ隊	にこにこベース・東京都立大学



(レッツ どー!!)
Let's DO!!



★活動中のエピソード

- 定期的に集まることで、互いに顔見知りになれる機会の創出
→「また来月会おうね」といった声を掛け合いながら帰るように
- 親子同士の交流機会の創出
→初めての顔合わせでもつながるきっかけに
- 他の地域活動からのつながりの広がり
→しらさぎおうちごはん、しらさぎ夏まつりの参加者が、Let's DO!!にも来てくれるように
- お客さん対ボランティアの関係を越えた「みんな主体の場づくり」
- ボランティアだけでは企画がうまく回らなかったときに、地域住民の方々と一緒になって場をつくりあげた経験

★今後の展望

- 地域の人にとっては集まる機会として、定着しつつある
- 一方で、学生・OVにとってはまだまだ認知度が低く、月に1度は顔を合わせる関係というものが生まれていない
- 2026年度初回の「なかもずさくらまつり(4/4)」にて、より積極的な呼びかけを図る
→まずは学生スタッフから、周りを巻き込んでいくような声掛けを

啓発(ボラがく)



ボラがくとは…?

世の中にある社会課題・状況について
知る・学ぶことを目的にしています。
ゲストと参加者と双方向に交流することにより
「一人ではできない学びを得られる場」をつくります。

開催実績

第38回	失語症	デイサービス ことばの泉	4月25日 失語症の日
第39回	ギャンブル依存症	公益社団法人 ギャンブル依存症問題を考える会	5月14日～20日 ギャンブル等依存症問題啓発週間
第40回	薬物依存症	一般社団法人 ARTS	6月26日 国際麻薬乱用撲滅デー
第41回	主権者教育	NPO法人 Mielka	7月20日 第27回参議院議員選挙 森之宮キャンパス特集 ／戦後80年
特別版	平和	NPO法人 大阪観光ボランティアガイド協会	9月 世界小児がん啓発月間
第42回	レモネードスタンド	NPO法人 おおさかレモネードスタンドプロジェクトPilina	読書の秋
第43回	闘病記	私設図書館 闘病記の森	読書の秋
第44回	まちライブラリー	一般社団法人 まちライブラリー	読書の秋
特別版	共創	QUINTBRIDGE (NTT西日本株式会社)	
第45回	国際ボランティア年	国連ボランティア計画	2026年 持続可能な開発の ためのボランティア国際年
第46回	チャリティマラソン	大阪マラソン組織委員会	2月 大阪マラソン
第47回	世界の水問題	公益社団法人 アジア協会アジア友の会	3月22日 世界水の日

啓発の発展的な取り組み(チャリティ)

★大阪マラソン「チャリティランナー」への参加

- 3名が参加。周囲に呼びかけ、一般財団法人みらいこども財団、NPO法人み・らいず2、認定NPO法人TABLE FOR TWO International、に寄付を届けた。
- 寄付およびマラソンに関する企画を開催
 - 12/9 「寄付バー」
 - 12/21 「市民ランナー交流会」
 - 1/11,2/1 「マラソン公開練習会」
 - 2/9 ボラがく「チャリティマラソン」
- 寄付先などとの関わりの中での経験や学び、また寄付先ではない団体ともつながりの創出
- 参加者同士でチャリティや企画について丁寧に話し合いながら進めることができた

★今後の展望

- 来年以降の学生が参加しやすい仕組みを考えたい



講師・研修の対応

- 6月20日
大阪公立大学 イノベーションアカデミー 共創パートナーズ 会員限定イベント
「学生と企業・自治体のコラボレーションを考えよう」主催
- 8月1日～9月19日（全5回） ※東根先生と連携
いきいき堺市民大学・短期コース「創(つく)ラボ ～企画を創り出そう～」主宰
- 8月4日
堺市教育委員会「社会体験研修」教員受入
- 8月19日
NPO法人よりはうす「ワクワク学ぶ夏のよりはうす」ボランティア先生出前授業 講師
- 8月28日
堺市「さかいSDGs推進プラットフォーム 会員交流会」事例発表

講師・研修の対応

- 8月29日・9月20日
堺市東区役所「南八下校区スマホ講座」講師
堺市生涯学習課「生涯学習市民講座：初心者向けスマホ講座」講師
- 9月3日
住吉区まちづくりセンター「まちづくり交流ライブin住吉」事例発表
- 10月25日
大阪ボランティア協会「ボラトーーーク! ～はじめ方からウラ話まで～」企画協力
- 11月6日
堺市「生涯学習サポーター養成講座・地域コーディネーター育成講座」講師
- 11月8日
東成区まちづくりセンター「地域活動で若い世代とつながろう!!」事例発表

講師・研修の対応

- 12月3日・1月15日・2月16日
堺市立安井小学校「総合学習」ボランティア先生出前授業 講師×4回
- 12月23日
大阪ボランティア協会「インクルーシブボランティアコーディネーター研修」事例提供
- 12月25日
大阪公立大学「地域連携フォーラム」登壇
- 2026年2月（全2回）
「ボランティア入門プログラム」主催
- 2月11日
大阪ボランティア協会「ボラトーーーク!2」企画協力

講師・研修の対応

- 2月14日
全大阪消費者団体連絡会「くらしクリエイトフォーラムin関西」事例発表
- 2月23日
NPOインターンシップラボ「シンポジウム2026」登壇
- 3月14日
関西大学ボランティアセンター「設立20周年記念講演会及び活動報告会」
パネルディスカッション登壇
- 3月26日
泉佐野市社会福祉協議会「中学生・高校生向けボランティア講座」
ボランティア先生出前授業 講師

講師・研修の対応（そのほか）

- 「住吉区ボランティア・市民活動センター運営委員会」
コーディネーターが運営委員に就任（令和7年度～8年度）
- 「大阪市ボランティア・市民活動センター運営委員会」
コーディネーターが運営委員に就任（令和7年度～8年度）
- 「堺市中区役所 区政策会議」
コーディネーター及び学生7名が構成員に就任（令和7年度～8年度）
- 「堺市西区役所 区政策会議」
コーディネーター及び学生1名が構成員に就任（令和7年度～8年度）
- 「堺市北区役所 区政策会議」
学生2名が構成員に就任（令和7年度～8年度）

他大学との交流

- ・LINKtopos (全国公立大学学生大会) @長野への参加 (2025.9)
- ・KAGAVOCO (関西学生ボランティアコーディネーターネットワーク) への参画
- ・OSN (おおさか災害支援ネットワーク) 大学生部会への参画
- ・東京都立大学VCとの関係構築
- …友好祭@大阪 (2025.5)
- 子どもまつり@東京 (2025.8)
- 都立大交流会×レッツ土ー!@大阪 (2026.3)



卒業生ネットワーク

卒業後もV-stationと
関われる仕組みづくり

- V-station卒業生ネットワーク（OV会）を発足しました！

◎卒業生同士または卒業生と在学生の交流

- ・同窓会・交流イベント等の開催
- ・卒業生からのお知らせ
- ・卒業生名鑑の作成

◎V-stationとの接点づくり

- ・ボランティア情報（災害・地域イベント等）の案内
- ・報告会・大学祭等のイベント案内
- ・基金・寄付のお願い

- ▶ 入会者26名（3/4時点）、Webページを作成
- ▶ 4月からの本格実施に向け、有志メンバーで会則づくり

大阪公立大学ボランティア・市民活動センター
卒業生ネットワーク(OV会)



市民の活動参加促進

- さかいソーシャルデザインコーナー
…堺市協定事業にもとづく取り組みである
「市民向けボランティア相談窓口」の再定義
…WEBサイトのオープン (<https://sakai-sdc.jp/>)
 - 対象別の説明会を開催
…「高校生向け」「大学生向け」
「若手社会人向け」「子育て世代向け」など
 - 市民活動パネル展（出張相談窓口）
…10/26中区区民フェスタ等に出展
- ⇒ (徐々に) 中高生や近隣住民の利用拡大



その他の出来事

●メディア等露出の増加

- 11月：大阪市ボランティア・市民活動センター情報誌COMVO「特集：学生座談会」
- 12月：読売テレビ「かんさい情報ネット ten.」
- 12月：ラジオ大阪「あれも！これも！SDGs」
- 3月：NHK「ぐるっと関西おひるまえ 出演」

総括

● 成果・実績

- 学内外における評価向上（理事長表彰など）
- 森之宮キャンパスを拠点とした活動のひろがり
- これまでに積み重ねてきた取り組みの深化・発展
- 新規V-mateの大幅増加（特に教育福祉／食栄養の1年）

● 課題・反省点

- 登録はしたが活動に至っていないV-mateの存在
→活動に十分につなげられていない
※活動参加率70%台は例年と変わらず
- キャンパス複数化によるコミュニティの分散
→各キャンパスにおけるコミュニケーション機会の拡充をより意識的に

寄付のお願い

●大阪公立大学・高専基金（OMU基金）



- 市民と学生が連携し、**地域社会の課題解決や活性化を目指す拠点の強化**を目的としている
- V-stationでは、多様な市民活動を支援し、地域住民や学生、教職員が交流・協働できる環境を提供しているものの、課題として**運営資金の不足**が挙げられる
 - 寄附金を活用して**活動の充実や運営体制の強化**を図り、より多くの人々が利用しやすく、魅力的な拠点の実現をめざす
 - イベントやワークショップの充実によって、市民の参加機会を広げ、**地域コミュニティの連携促進と活性化**に寄与する
 - 大学と地域がともに歩む持続可能な社会づくり（地域社会との共創）の中核として、ボランティア・市民活動センターの役割を高める取り組み

何卒、寄付のご協力をお願いいたします！

[公式HPはこちらのQRコード→](#)

